

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公開番号】特開2001-234395(P2001-234395A)

【公開日】平成13年8月31日(2001.8.31)

【出願番号】特願2000-50949(P2000-50949)

【国際特許分類】

**C 2 5 D 7/12 (2006.01)**

**C 2 5 D 5/04 (2006.01)**

**C 2 5 D 5/08 (2006.01)**

**C 2 5 D 17/06 (2006.01)**

**C 2 5 D 21/04 (2006.01)**

**H 0 1 L 21/288 (2006.01)**

【F I】

C 2 5 D 7/12

C 2 5 D 5/04

C 2 5 D 5/08

C 2 5 D 17/06 C

C 2 5 D 21/04

H 0 1 L 21/288 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月5日(2007.3.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ウェハークランプとウェハース持具とにより、めっき対象面を下向きにして保持されたウェハースを、めっき槽内のめっき液に浸漬させて、ウェハースを回転させながらめっき処理を行うウェハースめっき装置において、

前記ウェハース持具は、その下端が内方へ突出し、ウェハースのめっき対象面の全周縁を支持する延設領域を有するウェハース支持部を備えており、

さらに、前記延設領域には、めっき処理面下部のめっき液に接する複数の溝が設けられたことを特徴とするウェハースめっき装置。

【請求項2】

前記複数の溝は、櫛歯状に形成されたものである請求項1に記載のウェハースめっき装置。

【請求項3】

前記複数の溝は、螺旋溝である請求項1に記載のウェハースめっき装置。

【請求項4】

前記複数の溝は、案内板により形成されたものである請求項1に記載のウェハースめっき装置。

【請求項5】

ウェハースのめっき対象面の周縁に向けて、めっき液を強制的に供給するようにした液供給ノズルをめっき槽内に設けたものである請求項1～請求項4のいずれかに記載のウェハースめっき装置。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

具体的には、図9に示すようなウェハーめっき装置で、ウェハー4のめっき対象面5を下向きにしてウェハー4を保持するウェハークランプ6と、めっき対象面5の周縁を全周に渡って支持できるようになっているウェハー支持具7と、めっき液を上部開口からオーバーフローしながら循環できるようになっているめっき槽2とを備えおり、ウェハークランプ6とウェハー支持具7とによりウェハー4を挟持した状態で、めっき対象面5を下向きにしてめっき液面に接触させながらめっき処理を行うようになっている。より詳しく言えば、ウェハー支持具7の下端には、ウェハー4を支持するウェハー支持部10がある。そして、ウェハー支持部10は、図9に示すように、ウェハー4のめっき対象面5の全周縁を支持するために、内方に突出した延設領域がある。